

東京音楽大学 令和元年度 学部卒業式及び大学院研究科修了式
学長式辞

2020年3月7日 池袋キャンパス A館100周年記念ホール

本日卒業の日を迎えられた皆さん、卒業を心より慶びお祝いを申し上げます。

皆さんはこの在学中の数年間、音楽に没頭し音楽に囲まれた生活を過ごしつつ、いろいろな角度から音楽を探索し追求することを学んでまいりました。そして、それは人間としての個性、知覚、自分の可能性の模索、こういったものに少しずつつながっていったのではないのでしょうか。

今、この卒業の時を迎え、入学した頃を思い返し、自分の中で起きた大きな変化、進歩に驚きをもって実感している人も多いことと思います。

これから皆さんは、それぞれ自分の選んだ道を進んでいきます。社会人として大きく羽ばたき世に一步を踏み出す人、あるいは音楽をさらに追及するため大学院に進む人、博士課程を視野に入れて人、さまざまだと思います。

どの道を歩むにしろ、わたくしがここで皆さんにお伝えしたいことは、この数年間音楽の学びをとおして皆さんが獲得したもの、それは本当に尊いものだということです。今それを実感していない人もいるかもしれない。もしかしたらそれを本当に実感できるのは、数年後あるいは数十年後かもしれません。でもわたくしに言わせれば、それは紛れもない事実であり、皆さんが音楽を学ぶことによって得ためぐみ、この恩恵、それを皆さんはすでに全身に受けています。そしてさらに言うならば、このめぐみというのは皆さんが年を重ね、皆さんが成熟するとともに深みを増し、光を放ってきます。ですからわたくしの願いは、ここにいるすべての皆さんがこれからも常に音楽とともにあり、音楽とともに生きるこのよろこびを忘れないでいただきたい、ただこの一点に尽きます。

皆さんのこれからの人生が、多くの豊かな感動に彩られていきますよう心より願っております。
わたくしの皆さんへのあいさつといたします。

学長 野島稔